

統計

□ 北米合衆國に於ける鋼鑄塊の產出（一九一七年）

北米鐵鋼協會の推測豫算に從へは 同國本年度内鋼鑄塊

（スチール、インゴット）產出高は四千貳百六拾萬噸を過ぎ  
さるへしと云ふ。但し此の豫算成立の方法は同國同上產出  
高の八拾八パーセント強を供給する二十九ヶの代表的製鋼  
會社の各月生産高により推算したるものにして本年は四千  
貳百七拾七萬參千六百八拾噸產出せられたる昨年より減少  
せらるるならんと云ふ。

□ 北米合衆國に於ける製作品の輸出（自一九一六年七月至  
一九一七年六月一ヶ年間）

同國內外通商局發行報告書に據れば昨年の六月に終る壹  
ヶ年間に百貳拾億圓以上の輸出をなせりと云ふ而して其の  
七割八歩は完成及半成の製作品にして一九一四年は其の步  
合は唯五割九歩に過ぎざりしと云へは如何に其の好況なる  
かを推知するに足るへし。

左表は半成及完成を區分したる主要輸出物の價格にして  
一九一四年に比し如何に増加せるかを指示するものなりと  
す。

名稱	一九一七年	一九一四年
鐵及鋼製成品	二、二五八、六八三、二三二	五〇二、九六一、三五四
爆發物	一六〇五、五七八、八七四	一二、五四四、三九四
銅製々作物	七六六、五八三、九二八	一四、九四四、九五二
車輛及自動車	六四四、五六八、三四八	二九二、四四五、一一二
亞鉛製製作品	三三三、〇〇八、六七八	一〇三、三五二、四四四
電氣機械	一三三、二一七、一七二	八一二、四一六
鉛製製作品	一〇四、三一七、五四六	五〇、一二一、六八八
	三三、一二六、五八〇	八、二四四、〇一四

□ 合衆國に於ける銅の輸出入

官憲の示す統計表に從へは一九一七年上半期間に輸入せ  
られたる銅の量は拾參萬五千佛噸（二千封度噸）に達したり  
と云ふ因に一九一六年上半期間同上拾萬參千五百佛噸一九  
一五年同上五萬七千五百佛噸一九一四年同上八萬壹千貳百  
佛噸にして一九一六年一五年一四年各下半期に於ける輸入  
は夫々九萬五千五百佛噸八萬佛噸五萬貳千八百佛噸なりし  
と云ふ。

銅の輸出は（加奈太に輸出せられたるものも含む）一九  
一七年一六年一五年及一四年各上半期に於て夫々貳拾七萬  
四千七百六拾參噸（貳千貳百四拾封噸）拾四萬七千九百四拾  
參噸拾參萬六千五百貳拾七噸貳拾壹萬九千四百八拾七噸に  
して一九一六年一五年一四年各下半期に於ける銅の輸出  
は夫々拾七萬八千九百參拾七噸拾參萬九千貳百六拾七噸及  
拾參萬六千七百參拾五噸なりしと云ふ。

□ 加奈太及北米合衆國に於けるニッケル

次表は加奈太サドブリ地方に於ける製煉所ニッケル產

出量。加奈太より同上輸出高及北米合衆國に於ける同上輸出入高を示す。

### 加奈太に於て産出せられたるニッケル

品名	一九一五年(月一六)	一九一六年(月一六)	一九一七年(月一六)
石炭	一、三六四、〇四八	一、五六六、三三三	二、五二一、六八九
骸	四七、六四八	四、〇五〇	二六、〇六六
諸機械類、機構	一三、九四九	三〇、四五三	二七、三五一
及其の部分品	三、九五三	一九、〇七五	二二、六九四
鍊鐵、鍊鋼	二二、四五〇	四一、二九三	一、二五三
鍼力鍛鐵葉(エナ)	二七三	五九五	一、二五三
メル引鍛板其他	一、一八九	二七、二三九	二三、六四三
線條及其の加工品	九九六	二、六三五	二、九〇九
手動工具類	一九一四年	一九一五年	一九一六年

### 加奈太より輸出せられたるニッケル

品名	一九一四年(月一六)	一九一五年(月一六)	一九一六年(月一六)
英吉利	一〇、二九一、九七九	二三、七四八、〇〇〇	一一、一三六、九〇〇
北米合衆國	三六、〇一五、六四二	五三、六六三、四〇〇	六九、三〇四、八〇〇
其他の國々	二三〇、七〇六	一	一
合計	四六、五三八、三二七	六六、四二〇、四〇〇	八〇、四四一、七〇〇

### 北米合衆國に輸入せられたるニッケル

品名	一九一四年(月一六)	一九一五年(月一六)	一九一六年(月一六)
鎌及鍛(噸にて)	二九、五六四	四五、七九八	五九、七四一
ニッケルのみ	五五、〇〇六、七〇〇	五六、三五二、五八二	七三、六一二、四九二
の鍛	一	一	一
合計	一九一四年封度	一九一五年封度	一九一六年封度

輸出に就て。——輸出品目中最も興味あるは満俺鑛にして一九一七年上半期に於ては全く輸出せられず、一九一六年僅かに五拾噸未滿。一九一五年皆無なりしと云ふ因に

一九一四年上半期間に於ては六拾參萬參千八百貳拾五噸輸出せられたりと云ふ是は畢竟ダーダネルス海峡の閉塞せられたるに起因すと云ふ。

### □加奈太に於ける鐵及鋼產出高(一九一七年上半期)

品名	一九一四年(月一六)	一九一五年(月一六)	一九一六年(月一六)
佛蘭西	三、四五七、一五七	三、〇一八、三五四	二、八三三、一三二
伊太利	八五五、一六八	二九、五五七	二、七一五、五一一
和蘭	一	一	一
英吉利	一〇、八三六、三六九	西、八〇一、五六五	七、七六七、八七五
其他	一二、四四六、三六九	八、四六九、〇七四	二、九〇六、六六五
合計	二七、五九五、一五二	三、四一八、五五〇	三、四〇四、〇一一

加奈太に於ける本年上半期銑鐵產出高は五拾八萬六千九百五十五噸にして昨年同期間の五拾六萬貳千九百七佛噸に比し些少の増加を見たり。本年上半期に於ける鋼塊及直接鑄造物製作高は八拾參萬六千四百四十九噸にして昨年同期の同上製作高五拾八萬九千五百五拾參噸に比し格段の増産なりと云ふへし。電氣爐による鋼の產出は昨年中の統計は壹萬九千六百參拾九噸なりしに本年上半期に於て壹萬八千七

り。左表は最近參年間各上半期に於ける輸入高を示すものな

百九拾七噸に達せりと云ふ。

□大戰開始後に於ける露西亞の鐵及鋼

一九一六年度分調査に關する同國貿易局中央統計協議會の報告に従くは露西亞式熔鑄爐により前年度より約、貳、九「パーセント」多量に銑鐵を產出せりと雖も（百貳拾臺のものの内百拾四臺のみ使用せり）其の產出高は大戰勃發後の最初の年の合計には到達し得ざりしと云ふ。

地方別

一九一三年(噸) 一九一五年(噸) 一九一六年(噸)

南方ロシヤ地方	三、〇五八、三六七	二、七〇〇、七四五	二、八三九、五〇六
ウラル地方	八九八、九四八	八一〇、四〇一	七四一、八一〇
モスクワ地方	一九〇、五三八	一二九、二四〇	一五六、二六七

殆ど前と同率に於て鋼も產出減少を見たり。一九一六年同

國に於ける全產出高は一九一五年に比し約參步八厘の増加なりしと雖も一九一三年同上に比する時は約壹步參厘參毛の減少なり。一九一三年に於ては鋼の產出は四百八拾四萬噸なりしも一九一六年に於ては四百貳拾萬五千五百噸に達せざりしと云ふ。各鋼產地に於ける產出高は次表の如し。

地方別

一九一五年(噸) 一九一六年(噸)

南方露西亞地方	二、〇二六、三四八	二、一〇〇、四八四
ウラル地方	六四七、九七六	六六〇、七一〇
モスクワ地方	一八〇、二八六	一七七、四八一
ボルガ地方	一五一、〇四四	一四六、一七六
(北方ロシヤ地方 バルチック海方面)	二〇九、〇四四	二三三、六四三

職工の不足は鐵鋼產出高に非常に影響を來したる最大原因の一なりと雖も最近新職工の從事補給せらるゝに至り適當

の平衡を來せるものと觀察せらる而して從業人員地方別は左記の通りなり。

地方別	一九一五年	一九一六年
南方ロシヤ地方	一〇五、九八四	一三七、〇三八
ウラル地方	一四〇、三六六	一七九、二二一
モスクワ地方	三五、七一八	二五、七四七
(バルチック海方面)	四一、六〇五	四四、一二九
合計	三四三、八五〇	四二七、五〇二

上記の通りにして從業員の數は貳拾四、參バーセントの増加にして產出高は參參バーセントに過ぎされは各從業職工壹名に對する產出率は非常に減少せられたるものと云ふを得へし。

□全世界に於ける銑鐵及鋼の產出(一九一六年)

次表は最近發行のエンジニア、エンド、マイニングジャーナル記載に關る世界各國に於ける銑鐵及鋼の產出高の比較にして表中英吉利及北米合衆國の產出高は比較に便する爲め減少記載せり。或る國に於ては產出高概算すら易からざるものもありて確實統計は英米兩國以外に於ては得難し。又獨逸は產出高月報を中止し且つ同國の占有領土内製作所產出統計は殆ど手に入り難しされと上記の多少の例外を除けば大體信用を置き得るものとす。

銑鐵產出高

國名	一九一五年(佛頓)	一九一六年(佛頓)
北米合衆國	三〇、三九四、八七二	四〇、〇六三、七一四

統

三

北米合衆國  
獨逸利吉英合  
國鐵製大參記上

二、六八六、六二六	九二七、三五九
四、八七五、○○○	三、三三六、六〇七
四〇五、○○○	五、二二五、○○○
九六五、○○○	七五〇、○○○
四、九〇〇、○○○	一、〇〇九、二四〇
三九八、○○○	四、八五〇、○○○
四二五、○○○	

鋼鐵產出高

總計	六五、八七九、六四五	七八、二八六、六三〇	八三八、六二六	一、〇八六、六五九
			一、九六〇、〇〇〇	二、〇〇五、〇〇〇
			四、七五〇、〇〇〇	五、二五〇、〇〇〇
			五五〇、〇〇〇	一、〇五〇、〇〇〇
			三九五、〇〇〇	三八六、二四九
	四六〇〇、〇〇〇	四、三五〇、〇〇〇	四、三五〇、〇〇〇	四、三五〇、〇〇〇
	四一九、〇〇〇	四四八、〇〇〇	五〇五、〇〇〇	五〇五、〇〇〇
	七六七、六〇〇	七六〇、〇〇〇	五〇五、〇〇〇	五〇五、〇〇〇
	四八〇、〇〇〇			
其 他 各 國				
班				
西				
瑞				
伊				
白				
佛				
蘭				
耳				
太				
義				
利				
牙				
亞				
典				
其 他 各 國				
班				
西				
瑞				
伊				
白				
佛				
蘭				
耳				
太				
義				
利				
牙				
亞				
典				

英	吉	利	選	一一、七九〇、一九九	一三、一九〇、一七二
合	計			八、九三四、三四八	九、一九一、八三六
上記參大製鐵國				五一、一一九、四一九	六二、四四五、七三二

瑞其  
他各  
國典

五八〇、〇〇〇  
四五〇、〇〇〇  
五七〇、〇〇〇  
四七〇、〇〇〇  
七八〇、六九三  
八六、八四三、六五一

(○)輸出入貨物品別表(大藏省發行の大正六年十月外國貿易月)  
(表中鐵及鋼に關するもの左表の如し)

第一輸出貨物品別表

内國產品			大正六年十月			大正六年累計			大正五年十月累計		
數	量	價額(圓)	數	量	價額(圓)	數	量	價額(圓)	數	量	價額(圓)
鐵塊	一四五、三四	一三三、四〇一	二九三、六三四	四七八、九七六	—	—	—	—	—	—	—
鐵竿及錠(斤)	一六六五、〇七三	五〇七、九五七	一九、五五六、六三三	三、九四八、一五六	—	—	—	—	—	—	—
鐵索(斤)	五六八、四八二	二六一、八八〇	二、七八九、〇九八	—	—	—	—	—	—	—	—
鐵管(斤)	一八二六、八三五	四〇九、六四四	二三、四九〇、九九八	一、七四四、五三〇	五、三二〇、八四四	六七、八六七	—	—	—	—	—
鐵人船	—	一六九〇、二六二	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鐵鍋及製鐵品	—	四三、二六三	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鐵船(汽船)	—	一四、七七六	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鐵車(輛)	三三三	九、八〇〇、〇〇〇	六、一二五	—	—	—	—	—	—	—	—
鐵船(汽船)	三八、五三三	二一、五五〇、六六六	七五	—	—	—	—	—	—	—	—
機械同部分品及附屬品	五八、五三三	二三、六五、四三六	二、三五五、四三六	三三	六、九六四	二五五、四三四	—	—	—	—	—
石炭(噸)	—	三一、五四〇	九、五五一、三八一	—	—	五、一九八、四七九	—	—	—	—	—
機械同部分品及附屬品	—	—	九〇、六三五、五九〇	—	—	一九、四五〇、九三三	—	—	—	—	—
機械同部分品及附屬品	—	—	一七、一二五、四六六	—	—	六一、一八九	—	—	—	—	—

第二輸入貨物品別表

外國產品			大正六年十月			大正六年累計			大正五年十月累計		
數	量	價額(圓)	數	量	價額(圓)	數	量	價額(圓)	數	量	價額(圓)
鐵鑄(擔)	五三、五六六	三八、三〇四	四、一二四、九三六	一八四三、六三三	四〇三三、六〇四	四〇三三、六〇四	—	—	—	—	—
鐵鑄(擔)	五三、五六六	三八、三〇四	四、一二四、九三六	一八四三、六三三	四〇三三、六〇四	四〇三三、六〇四	—	—	—	—	—
鐵鑄(擔)	五三、五六六	三八、三〇四	四、一二四、九三六	一八四三、六三三	四〇三三、六〇四	四〇三三、六〇四	—	—	—	—	—





●大正六年十月中本邦鐵及重要金屬並石炭產額表（農商務

省鑛山局調

## 鐵の產出狀況

鐵山名	所在地	大正六年十月	大正五年十月
釜	岩手	四、三三八・四 五五九・五	二、七七八・七 一、八八二・一
仙	(銚)	佛道	佛道
栗	木人	二四九・八	三五七・七
	同(銚)	一五三・七	二五三・〇

## 重要金屬の產出狀況

## 重要金屬の名

石炭の產出狀況

山名所在地

## 石炭の產出狀況

讀山名所在地

張石狩

真谷地同

新夕張同

全知同

歲  
春  
別  
同

卷之三

并 别 同

二十六  
同

二菱美唄 同

人山福島

鐵

第四年

第一號

三

七、五八三	三〇、二四二
六、五二〇	六、三八三
八七、三〇八	七〇、九九五
三八、九四二	四一、四四八
一三、七二六	三三、六一八
四五、三九六	四一、七七七
一一、六四三	一一、一二七
二〇、〇九二	二一、三九一
二八、一九一	二三、八五三
一〇、九一四	一二、〇〇八
七二、五四四	八〇、一六四
四七、二八五	四九、一〇〇
三九、〇三七	四一、三二九
四七、二六八	六七、
三〇、〇五〇	二八、二八四
一一、一三三	一四、二一〇
三七、一〇〇	三八、七九〇
一六、〇七一	一四、九二一
三六、五五六	三三、四二九
二七、五〇二	二三、七三三
一一、九六〇	一一、七三九
一六四、五八〇	一四七、九三五
二三、四七一	一三、〇九八
一五、一四四	一七、六七二
一一、四四〇	六、八七二

久 岩 芳 相 杵 飯 福 姬 新 宇 野 平 泉 三 旭 龜 高  
目 田 二

原屋谷知島塚岡濱尾美田山水笠山坑松  
同同同同佐賀同同同同同同同同同同同

四、七〇三	五、三三五	五、四五四	六、二四九	六、〇四〇
七、〇一六	一一、二八三	三、一一〇	三、四三〇	五、一九一
二四、一八〇	一一、一八四	一四、五一七	四九、〇二一	三七、四一七
四〇、〇二五	三三、三六八	一、五〇五		

一〇、五四九	六、〇六〇	五、一二六	五、一五二
五、二三一	七、五五九	七、四五七	一、一三〇
七、四七一	五、一三〇	三、六五八	四、九六九
三、六二五	五、一三〇	一、三、六六六	一〇、九四二
一、三、五二五	四、九六九	五〇、五八七	五〇、五八七
二、八二〇	三七、二三二	四一、一二三	四一、一二三